

いいとこ取りのマルドリ方式！おいしいかんきつを安定生産！

【研究のポイント】

大分県ではゼリーオレンジ・サンセレブ(「大分果研4号」)やデコ330(完熟「不知火」)などのオリジナルかんきつを生産しています。透湿性マルチを被覆して土壌水分を制御したり、冬期にビニール被覆して樹上完熟させることで果実品質は高まりますが、その影響で生産が不安定になってしまいます。一方、温州みかんでマルチ栽培と点滴かん水設備を用いてかん水や施肥を組み合わせたマルドリ方式により、おいしい果実を安定して生産する技術が確立されています。そこで、この技術を応用して大分県オリジナルかんきつに適したマルドリ方式を検討しています。



\* マルドリ方式とは自動化システムによる灌水施肥をマルチの下に敷設した点滴チューブで行うことによって、省力と高品質果実生産を実現できる「周年マルチ点滴灌水同時施肥法」のこと。

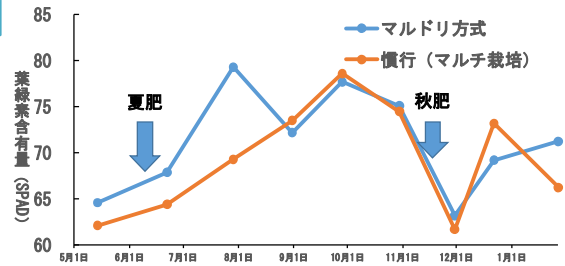
【研究の成果】

ゼリーオレンジ・サンセレブ 「大分果研4号」

「大分果研4号」のマルドリ方式では、生育ステージに応じて、液体肥料を少量ずつ施用しました。

(結果)

マルドリ方式では、肥料分を少なくしても、慣行の施肥よりも葉の葉緑素含有量が高く、肥料が効率よく吸収されることが伺えました。肥料の吸収が良いため、収量が20%アップし、果実の糖度も高くなりました。



収穫果実の品質調査 (2020/12/16)

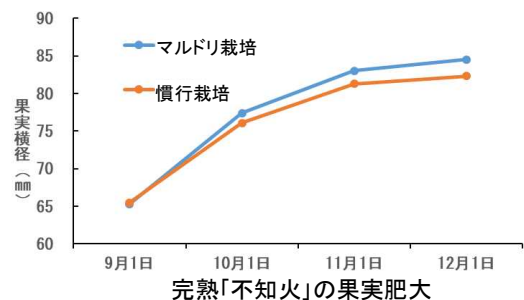
処理区	Brix (%)	クエン酸 (%)
マルドリ栽培	12.7	0.84
慣行(マルチ栽培)	12.1	0.89

デコ330 完熟「不知火」

完熟「不知火」のマルドリ方式では、8月上旬から透湿性マルチを被覆し、生育ステージに応じて、液体肥料を少量ずつ施用しました。

(結果)

マルドリ方式では、慣行よりも果実が大きくなっています。3月下旬の収穫時期には収量も15%アップする見込みです。



マルドリ方式で高品質なかんきつの安定生産を目指す！

【関係者の声】



JAおおいの県南柑橘選果場: 水内係長

「デコ330」は味が良く、お客様からの評判もよいのですが、樹が弱って生産量が減ってしまうことがありました。この技術でおいしいかんきつを安定して生産できると期待しています。



デコ330 完熟「不知火」

【連絡先】

担当: 農林水産研究指導センター 農業研究部 果樹グループ カボス・中晩柑チーム  
 TEL: 0972-82-2837  
 住所: 津久見市大字津久見浦3456